

研究課題名	CAPA(COVID-19-Associated Pulmonary Aspergillosis)発症率およびリスク因子の検討
研究の意義・目的	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)では肺アスペルギルス症を合併する可能性があることが知られており、「CAPA」と呼ばれています。海外ではその発症率が高いことが報告されていますが、日本では詳細な検討がなされていないため、当院(大阪公立大学医学部附属病院)に COVID-19 で入院された方のうち、どれくらいの割合で CAPA を発症したか、そしてそのリスク因子は何であるかを電子カルテ情報から検討します。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 2025年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2020年1月～2021年12月に大阪公立大学医学部附属病院に入院された COVID-19 患者の方。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、CT画像、使用薬剤、検出された細菌や真菌の情報】
情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院感染症内科(大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学)のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院感染症内科(大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学)のみで行います。
情報を管理する責任者	大阪公立大学医学部附属病院感染症内科(大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学) 研究責任者：掛屋 弘
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 感染症内科(大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学) (担当者氏名) 井本 和紀 電話番号：(06) 6645-3784 メールアドレス：wakiimoto@omu.ac.jp